

校報 ふれあい

第309号
R5. 6. 20発行
発行者
雲南市立田井小学校
校長 井上 孝弘



全校児童13名でスタートをしました令和5年度の1学期も残すところ4週あまりとなりました。7月20日(木)の終業式を気持ちよく迎え、元気に夏休みを過ごすためにも、これまでの学校生活や学習のまとめをし、自分自身を振り返る大切な時期になりました。

そして、例年より早い梅雨入りとなり、暑さも本格的になりつつあります。そのような中、6月15日(木)には、4年ぶりに三刀屋文化体育館アスパルで雲南市連合音楽会が行われました。

4本柱「合唱」の取組 《雲南市連合音楽会》

裏面で「吉田コミュニティ・スクール」について載せていますが、その中の「吉田中校区で大切にしたい4本柱」の一つが「合唱」となっています。この「合唱」の取組みとして、雲南市連合音楽会に向けた練習を重ねてきました。

「合唱」となっていますが、音楽会では、合唱曲「おはようのエール」と合奏曲「ミックスナッツ」を演奏しましたので、「全校で合唱や合奏に取り組むこと」が吉田中校区の特色となっています。実際に音楽会当日、全校児童及び生徒で参加したのは吉田中校区の3校のみでした。小規模校の良さの一つであると思います。

さて、実際の練習ですが、5月20日(土)の運動会が終わってから本格的になりました。約3週間という短い練習期間と演奏する曲の難しさが重なり、練習する子ども達も指導する先生達も不安な気持ちになる時期がありました。

しかし、あきらめずに練習を重ね、指導を重ねることで、演奏する曲も少しずつ仕上がっていき、「自信」も少しずつ膨らませながら、本番を迎えることができたと思っています。

特に、例年ご指導いただいている田中義浩先生と菅原史子先生には、何度も来校いただき、両先生の指導とアドバイスが大きな励みになりました。



また、本番前日には、公開リハーサルを行い、朝の早い時間にもかかわらず、



20名を超える地域・保護者の皆様にお集まりいただき、大きな拍手と励ましをいただきました。本番への大きな自信になったと思います。

そして、本番当日。今までの練習の成果がしっかりと表れた素晴らしい演奏をすることができました。会場からは、リハーサルの何倍もの拍手をいただき、自信がまた大きくなったと思います。特に、合唱では、練習以上に張り切った声を出すことができ、その中心にいたのが高学年(4~6年)の子ども達だったと思います。高学年の子ども達は、練習の時からしっかりと声でリードし、まさに柱のように、全校合唱を支えてくれていました。最後の放課後練習で、菅原先生が、高学年の子ども達に向けて、「今年も田井小学校の伝統がつながったよ。」と話していただいたように、子ども達が伝統をつないでいくことが、子ども達一人一人の成長につながっていくことを実感できる活動でもあったと思います。





5月20日(土)、「ふれあい運動会」を開催しました。予定通り10時に入場行進がスタートし、開会式では、5年生3名による大会スローガン「優勝めざして さあ、行こう！ 限界こえて 見せつけろ！ 田井っ子パワー ～元気なかよし あきらめない～」の発表、そして、各色長の2人による選手宣誓と式が進むにつれ、一人一人が気持ちを高めることができました。



その後競技が始まり、短距離走では1・2年生が80m、3年以上は100mを全力で走り切る姿をたくさん見る事ができました。次のダンスは、昨年度から練習してきた成果をしっかりと発揮できるものになり、保護者の皆様にも協力いただき、とても賑やかな時間になりました。次のふれあい種目、「家族のきずなでハイポーズ！」も保護者の皆様の協力で楽しい競技となりました。そして、全校種目「ラスポスをたおせ！」は、ジャンケンに負けるほど長い距離を走り、ジャンケンに勝ち続けないと点の入らない種目であり、イライラする姿も見られましたが、やっている子ども達はチームの勝利のために真剣そのものだったと思います。



後半は、お弁当休憩をはさんで、「応援合戦」からでした。昨年度から、「ゴーゴーゴーの歌」も含めて、赤組と青組が共に作り上げる「応援合戦」となりましたが、今年度も、田井小ならではの伝統を感じる種目となりました。少人数であるが故の子ども達一人一人の役割の大きさ、そしてそれに精一杯応えようとする一人一人の姿、中規模や大規模の学校では見ることのできない「自信」あふれる子ども達一人一人の姿を今年も見ることができました。

人の姿、中規模や大規模の学校では見ることのできない「自信」あふれる子ども達一人一人の姿を今年も見ることができました。



ラストも全校種目の「色別リレー」です。順位が目まぐるしく入れ替わり、最後は各色長の2人によるデッドヒートとなりました。決着した時の子ども達の悔し涙ややり切った表情がとても印象に残りました。

閉会式の中で、6年の一真さんは『私たちは、これまで「準備と練習」をがんばってきた。みんなで力を合わせてがんばったからいい運動会になった。』と語ってくれました。まさにそのとおりであり、子ども達が4月から積み上げてきた「準備と練習」を「限界をこえて見せつけた」ことで「田井っ子パワー」として発揮できた運動会になりました。そして、陶山PTA会長さんが『準備と練習を頑張ったことは、みんなの宝物になる。』と話していただいたように、運動会での経験を生かし、今後も「自信」をもって様々な活動をしてほしいと思っています。



ただ、それまでには、「できないこと」や「うまくいかないこと」など様々な困難があったと思いますが、自分一人の力や仲間と力を合わせることで乗り越えることができたと思います。その中で、仲間の新たな一面に気づくことで絆が深まる子ども達の姿も見ることができました。そして、保護者の皆様のお力も大きいものがあったと思います。「準備と練習」のために疲れ切って帰ってくる子ども達の心と体に、毎日毎日「エネルギー」を注入していただけたことで乗り越えられたことも多かったはず。また、お弁当休憩のための準備や朝の会場準備、そして、保護者種目などもお世話になりました。ありがとうございました。

さらに、今年度から休日開催に戻し、コロナ禍による制限も無くしました。それによって、より多くの家族の方や地域の皆様に応援していただくことができました。特に、中学生をはじめ卒業生の皆さんには、大会を大変に盛り上げてもらいました。ありがとうございました。

吉田コミュニティ・スクール(吉田CS)

5月25日(木)、吉田中にて今年度第1回の吉田CS学校運営協議会が行われました。

吉田CSの目的は、

「吉田を愛し、心豊かに、たくましく生きる子ども」

というめざす子ども像の育成にあります。ではそのために何をするのか。それは、協議会要綱の第2条に記されているように

①保小中の一貫・連携した保育・教育を行うこと

②学校・保育所と家庭と地域の連携・協働を進めていくこと

この2つが目的を達成するための大事な手段になると思います。そして、その手段を具体的に進めていくために、吉田中校区では、

「吉田中校区夢発見プログラム」の実践と

「教職員の集い」での活動を柱にしています。

「吉田中校区夢発見プログラム」は、地域社会と連携しながら地域資源を活用したキャリア教育・ふるさと教育の保小中と一貫したプログラムとなっています。その中で、「外国語教育の充実」「たたら・炭焼き、森林学習」「スキー教室」「合唱」を

「吉田中校区で大切にしたい4つの柱」として、特に小中の一貫した取組として行っています。

「外国語教育の充実」

については、過去の文科省の研究指定を引き継ぎ、英語教育に力を入れているものです。



普段の学習はもちろんのこと、小学校3年生から中学校3年生までが、毎年英検を受験できることも特徴であり、子どもの数が少ないという小規模の良さを生かした取組みだと考えています。

「たたら・炭焼き、森林学習」

については、まさに吉田ならではの地域資源を活用した学習になっており、地域の皆様のご支援を受けながら進めているとこ



ろです。今年度は、5・6年生が炭焼きを学ぶ年度となっており、校地内にある炭焼き窯を使って学習を進める予定です。

「スキー教室」

については、各学校で、全校をあげてスキー学習を行っています。



昨年度から田井小と吉田小は合同で行っています。全校をあげての活動で9年間毎年スキーに親しむ学校はなかなか見られず、吉田中校区ならではの活動だと思えます。

「合唱」につい

ても、各学校で、全校をあげて合唱及び音楽活動を行っています。



今年度は、4年ぶりに開催された雲南市連合音楽会に向けて各校とも全校体制で取り組んだところです。スキー教室同様、9年間全校音楽に取り組めることは、吉田中校区ならではの取組だと思えます。

「教職員の集い」については、保小中が一貫・連

携した保育・教育を行っていくために我々教職員がつながり、連携し協働していく場であり、年に3回、全体会や研修会、部会を行います。特に、部会の活動は、教職員が各保育所・学校からそれぞれの部会に所属し、活動するもので一貫・連携した保育・教育の推進の核であるとされており、「連携啓発部」「学力育成部」「人権・同和教育部」「養護部」「事務部」の5つの部会に分かれて活動しています。今年度第1回の教職員の集いについては、すでに4月17日(月)に実施し、第2回についても7月31日(月)に予定しています。

今年度も「吉田を愛し、心豊かに、たくましく生きる子どもたち」を育てるために、「保小中の一貫・連携した保育・教育」と「学校・保育所と家庭と地域の連携・協働」を進めていきたいと考えています。その様子については、校報・ホームページなどでお伝えし、多くの皆様からのご意見をいただきましたと思っております。ご理解とご支援のほどよろしくお願い致します。

4本柱「外国語教育の充実」

「吉田中校区で大切にしたい4本柱」の一つは、「外国語教育の充実」であるとお伝えしました。その取組については、5・6年生が週2時間学習する「外国語科」と、3・4年生が週1時間学習する「外国語活動」が中心になりますが、1・2年生は、学期に1回程度の「国際交流活動」で、外国の様子や遊び、言葉などに親しむ学習を行っています。

《国際交流活動》

1学期は、5月24日（水）に市役所からスーキパチェコジャンポール国際交流員に訪問いただき行いました。画像やゲームを交えながら、ジャンさんにアメリカ合衆国やベネズエラのことについて楽しく教えてもらいました。



交流活動

5月26日（金）には、3・4年生が吉田小3・4年生と交流活動を行いました。



今回は、社会科の学習の中で、雲南市巡りを合同で行いました。道の駅たたらば壱番館、市役所、木次駅などの見学や木次線への乗車体験、そして、丸子山公園での弁当昼食を通して交流を深めることができました。

今月もご支援ありがとうございました

この1ヶ月の間も多くの地域の方に学校に来ていただき、子ども達の「よりよい成長」を支えていただきました。ありがとうございました。

《町探検》

1・2年生が生活科で町探検を行っています。5月31日（水）には、田井郵便局、Yショップ

プ、深野神社の皆様、6月13日（火）には、薬師堂、サンコープ、田井診療所の皆様のご支援により学習を進めることができました。



《プール掃除》

6月7日（水）に全校児童でプール掃除を行いました。3年生以上が大プールを、2年生以下は小プールを担当しました。少ない人数で大変でしたが、約2時間の作業の末、見違えるほどきれいなプールになりました。



10名の地域の方にもお手伝いいただき、本格的な高圧洗浄機の助けもあって時間内に終わることができました。ありがとうございました。

今後の主な行事予定（～7/31）

<6月>

- 22日（木） 食の指導（栄養士来校）
- 26日（月） 和田スクールカウンセラー来校
- 27日（火） プール開き 教育委員会学校訪問
- 29日（木） 支援ボランティア（草取り）
- 30日（金） 授業公開日 救急蘇生法研修

<7月>

- 6日（木） 支援ボランティア（笹巻づくり）
漢字読み名人開始（～14日）
- 12日（水） 防犯教室 学期末事務日（下校13:15）
- 17日（月） うんなん家庭の日
- 19日（水） 給食最終日
- 20日（木） 終業式
- 25日（火） 家庭訪問

お知らせ～ホームページ更新～

今年度も、ホームページの更新を行っています。たくさんの方にご覧に頂けると嬉しいです。
「雲南市立田井小学校」で検索し、ぜひご覧ください。